

開発課題実習 最優秀賞

関東職業能力開発大学校

ビス員数管理装置の開発

生産機械システム技術科	阿部 豊史、伊藤 優駿、生沼 直樹、津久井 悠翔
	平松 大貴、柳谷 柚木
生産電気システム技術科	加藤 剛太、神山 治毅、原田 侑幸、渡辺 琉可
生産電子情報システム技術科	寺尾 太一、井口 昌太、下山 英作、寺内 祐人、原 和樹



<受賞者コメント>

この度は、最優秀賞という素晴らしい賞をいただき、大変嬉しく存じます。本開発は金属加工を主業務として行っている企業様からの依頼で、生産効率の向上のため、ビスの整列と員数管理を自動化させる装置を開発しました。対象のビスは、ばね座金と平座金が付いているため、重心が安定しません。また、材質はステンレス製なので磁気を用いた整列方式も不可能という特徴がありました。そのため、ビスを整列させるための機構である整列部には、構想の段階から多くの時間を費やし、試行錯誤を重ねました。その結果、加工前から精緻な構想を練ることが出来、ドラム式・中板式の2方式を開発することが出来ました。時には進捗が大幅に遅れ、完成が遠く感じることもありましたが、最終的には企業様が満足出来る成果物を開発することが出来たと考えています。4月から社会の一員となりますが、これらの経験を活かして期待に応えられるよう、日々精進していきたいと存じます。